

平成20年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,839	16,884	45	(注1)
施設整備費補助金	1,533	1,703	170	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	167	210	43	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73	73	-	
自己収入	20,340	21,921	1,581	
授業料及入学金検定料収入	6,397	6,316	△ 81	(注4)
附属病院収入	13,651	14,955	1,304	(注5)
財産処分収入	-	0	0	
雑収入	291	649	358	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	2,663	2,332	△ 331	(注7)
長期借入金収入	3,800	3,797	△ 3	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	0	2	2	(注9)
旧法人積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	0	346	346	(注10)
計	45,418	47,271	1,853	
支出				
業務費	35,015	33,736	△ 1,279	
教育研究経費	22,605	20,179	△ 2,426	(注11)
診療経費	12,409	13,557	1,148	(注12)
一般管理費	922	3,814	2,892	(注13)
施設整備費	5,407	5,573	166	(注14)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	167	210	43	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,663	2,328	△ 335	(注16)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,242	1,216	△ 26	(注17)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	45,418	46,880	1,462	
収入－支出	-	391	391	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、退職手当の支給及び卒後臨床研修費必修化経費を前年度からの繰越額を充てたため、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、平成20年度補正予算により耐震対策事業等が措置されたため、予算金額に比して決算金額が170百万円多額となっております。

(注3) 補助金収入については、見込みより受け入れ実績が多かったため42百万円多額となっております。

(注4) 授業料及入学金検定料収入については、入学者の減及び休退学者の増等により予算金額に比して決算金額が80百万円少額となっております。

(注5) 附属病院収入については、入院患者数の増等による稼働の向上及び7対1看護体制の導入を図ったこと等により予算金額に比して決算金額が1,303百万円多額となっております。

(注6) 雑収入については、科学研究費等間接経費、財務収益、動物治療収入等の増により予算金額に比して決算金額が358百万円多額となっております。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、見込より受託研究等及び寄附金の受入が減ったため、予算金額に比して決算金額が331百万円少額となっております。

(注8) 長期借入金収入については、契約額が予定よりも廉価となったため、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっております。

(注9) 承継剰余金については、予算段階では想定していなかった医療訴訟の和解があったため、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっております。

(注10) 目的積立金取り崩しについては、設備及び施設等整備のための補正予算を編成したことにより、予算金額に比して決算金額が346百万円多額となっております。

(注11) 教育研究経費については、経費区分計上基準の明確化により会計処理を変更したことと、事業計画の見直しにより翌事業年度への繰越を行ったため予算金額に比して決算金額が2,426百万円少額となっております。

(注12) 診療経費については、注5に示した理由により見合の医療費等が計上されたため予算金額に比して決算金額が1,147百万円多額となっております。

(注13) 一般管理費については、経費区分計上基準の明確化により会計処理を変更したため、予算金額に比して決算金額が2,892百万円多額となっております。

(注14) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が166百万円多額となっております。

(注15) 補助金等については、(注3)に示した理由に伴い事業費が増となったため、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっております。

(注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により予算金額に比して決算金額が334百万円少額となっております。

(注17) 長期借入金償還金については、借入予定時期が実際の借入時期と違ったことによる償還額の差異により、予算金額に比して決算金額が26百万円少額となっております。